

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理学Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部2年	学期	前期	教室名	802
担 当 教 員	孫 明 洲				
実務経験と その関連資格	1986年医科大学卒、医学学士、医師(中国) 2001年神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了、学術博士 2003年より22年間続き、医療系基礎医学の講師として、看護学科・理学療法士学科・作業療法士学科・視能訓練士学科・言語聴覚士学科などの生理学・解剖生理学・臨床医学など科目を担当した。 日本生理学会会員(P03223) 「早わかり生理学ハンドブック」(ナツメ社)を単独で執筆した。				
《授業科目における学習内容》					
1、解剖生理学Ⅴの授業として「循環器系」、「呼吸器系」、「消化器系」など内容から構成され、特に循環呼吸機能を中心として展開する。 2、医療を学ぶ上で基本的な人体の機能的な構造とその働きを理解し、臨床でよく見られる病態の内容も取り入れる。					
《成績評価の方法と基準》					
◎評価内容:①学期末試験1回(満点100点)、②小テスト3回(満点100点) (③口頭試問、④授業態度) ◎評価方法:成績評価(満点100点)=①期末試験成績×80%+②小テスト平均成績×20%+(③④を考慮に入れる)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
ナツメ社「早わかり生理学ハンドブック」、医学書院「生理学」					
《授業外における学習方法》					
①授業の前に予定授業内容を教材で調べる。②授業後に授業内容を教材で確認する。③配布される練習問題や国会試験過去問などを練習する。④正答出来なかった小テスト内容に強化勉強する。⑤分からない部分がありましたら、担当先生に聞き、またはクラスメイトと討論する。					
《履修に当たっての留意点》					
1、「はい」、「うん」よりまず自分らしいイメージを作って見ましょう。2、知識は楽にして身に付きませんが、増えれば増えるほど勉強が楽しくなります。3、病態や臨床については、十分な解剖生理学の知識がなければ進めません。自分自身で選んだ目標を目指して頑張れ！					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	血管の構造及び全身分布の特徴を述べる。	「生理学ハンドブック」第7章、「シンプル生理学」第15章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。	
	各コマにおける授業予定	【循環器系の機能①】——循環器系の機能構成			
第2回	授業を通じての到達目標	心筋の特徴及び心臓興奮伝導系を述べる。	「生理学ハンドブック」第7章、「シンプル生理学」第15章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。	
	各コマにおける授業予定	【循環器系の機能②】——心臓の機能構造と生理機能			
第3回	授業を通じての到達目標	正常心電図の構成及び代表てきな異常心電図を述べる。	「生理学ハンドブック」第7章、「シンプル生理学」第15章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。	
	各コマにおける授業予定	【循環器系の機能③】——正常心電図、心電図異常の例			
第4回	授業を通じての到達目標	血圧調節機序及び主な影響因子を述べる。	「生理学ハンドブック」第7章、「シンプル生理学」第15章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。	
	各コマにおける授業予定	【循環器系の機能④】——血液循環の機能構成と血圧の調節			
第5回	授業を通じての到達目標	冠状循環、脳循環、肺循環、骨格筋循環の特徴を述べる。	「生理学ハンドブック」第7章、「シンプル生理学」第15章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。	
	各コマにおける授業予定	【循環器系の機能⑤】——特殊部位の循環(局所循環)			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	リンパ性浮腫と脳圧亢進の仕組みを説明できる。	「生理学ハンドブック」第7章、「シンプ ル生理学」第15章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。 小テスト①ための復習。
	各コマにおける授業予定	【循環器系の機能⑥】——リンパ循環及び浮腫、脳脊髄液循環及び脳圧亢進 【循環器系の復習】		
第 7 回	授業を通じての到達目標	気道と肺胞の構造、呼吸運動を述べる。	「生理学ハンドブック」第8章、「シンプ ル生理学」第16章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。 正答出来なかった小テスト内容に強化勉強する。
	各コマにおける授業予定	【小テスト①】——循環器系 【呼吸器系の残能①】——呼吸器系の機能構成、呼吸運動		
第 8 回	授業を通じての到達目標	呼吸気量の成り立ち、ガス交換の仕組みを説明できる。	「生理学ハンドブック」第8章、「シンプ ル生理学」第16章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。
	各コマにおける授業予定	【呼吸器系の機能②】——呼吸気量、ガス交換		
第 9 回	授業を通じての到達目標	酸素運搬と二酸化炭素運搬の仕組み及び影響因子を述べる。	「生理学ハンドブック」第8章、「シンプ ル生理学」第16章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。
	各コマにおける授業予定	【呼吸器系の機能③】——ガス運搬		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	呼吸リズムの成り立ちと影響因子を述べる。	「生理学ハンドブック」第8章、「シンプ ル生理学」第16章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。 小テスト②ための復習。
	各コマにおける授業予定	【呼吸器系の機能④】——呼吸運動の調節、呼吸の異常 【呼吸器系の復習】		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	消化管と消化付属器を述べる。	「生理学ハンドブック」第9章、「シンプ ル生理学」第13章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。 正答出来なかった小テスト内容に強化勉強する。
	各コマにおける授業予定	【小テスト②】——呼吸器系 【消化器系の機能①】——消化器系の機能構成		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	嚥下反射と排便反射の仕組みを述べる。	「生理学ハンドブック」第9章、「シンプ ル生理学」第13章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。
	各コマにおける授業予定	【消化器系の機能②】——消化管の運動及びその調節		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	主な消化酵素とその標的物質を述べる。 栄養素吸収の特徴を述べる	「生理学ハンドブック」第9章、「シンプ ル生理学」第13章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。
	各コマにおける授業予定	【消化器系の機能③】——消化液の分泌、消化、吸収		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	主な消化管ホルモンの役割を説明できる。	「生理学ハンドブック」第9章、「シンプ ル生理学」第13章	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。 小テスト③ための復習。
	各コマにおける授業予定	【消化器系の機能④】——消化管ホルモン、肝臓と胆道系		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	循環器系、呼吸器系、消化器系の基本機能を理解しながら述べる。	教科書の上記内容	教科書を読むこと。 練習問題を解くこと。 正答出来なかった小テスト内容に強化勉強する。
	各コマにおける授業予定	【小テスト③】——消化器系 【解剖生理学Ⅴの総復習】		